

田中先生の ワルシャワ通信

第 13 号

平成28年 9月27日

西山中学校 関係各位

お世話になっております。

会津はまだまだ暑い日が続いているようですが、ここワルシャワは、朝晩はすっかり冷え込むようになり、秋の訪れを感じさせる季節になってきました。皆さんは、お元気ですか。

さて、先日、本校の修学旅行が行われ、今年はクラクフに行ってきました。

クラクフは、ポーランドで最も歴史のある街の一つで、17世紀初頭までポーランドの首都でした。ポーランドの京都のようなイメージです。

写真1は、その当時の国王が住んでいた城、ヴァヴェル城です。現在は、博物館として公開されており、当時の美術品などを見ることができます。

(残念ながら撮影禁止なので、いつかぜひその目で見てみてください)



写真1 ヴァヴェル城

写真2は、そのふもとにある、竜の像です。クラクフには、竜の伝説と言うものがあり、「昔、クラクフには凶悪な竜がおり、毎日のように田園地帯を破壊したり人々を殺害していた。竜は特に若い女性を食べることに興じており、国王の娘以外、あらゆる少女が犠牲になった。そこで、王は、竜を倒せたものには、自分の娘と結婚することを認めた。強力な戦士たちが戦っては失敗に終わるなか、一人の靴職人の見習いが知恵を働かせてその竜を退治した。その後ポーランドの王子はその竜の洞窟の上に宮殿を建設した」

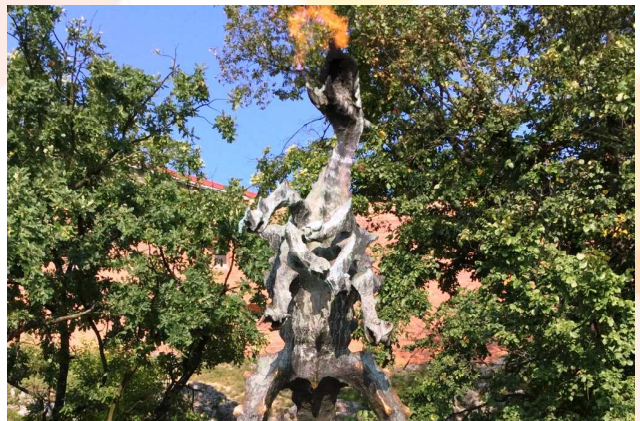


写真2 竜の像

というものに由来しています。

この竜は、数分おきに火を噴くようにできており、1つの観光スポットとなっています。

写真3は、クラクフの旧市街の広場です。

クラクフには、中世まで首都だったという歴史的理由から、ワルシャワよりも大きな旧市街があります。その中には、教会や市場の建物が今も残っており、多くの観光客が訪れます。



写真3 旧市街の広場

写真4は、その旧市街にある教会の内部です。

写真5は、クラクフ近郊にあるヴィエリチカ岩塩坑の内部です。

ここは、廃坑になっていない岩塩坑としては世界最古で、世界最大の製塩企業です。観光できるルートは3km強ですが、坑道の全長は300kmにも及ぶそうです。現在は世界遺産にも登録されています。



写真4 教会の内部

以上です。

中学1・2年生の皆さんは、もうすぐ新人バドミントン大会ですね。ぜひ、力を存分に発揮して、好結果が残せるよう頑張ってくださいと思います。3年生の皆さんは、段々進路をどうするか決める時期かと思います。自分がこれからどういう風に生きていきたいか漠然でも考えて、それに合った進路を選んでもらえればと思います。本校にも1人、日本の高校を受験する生徒がいるので、皆さんに負けないよう頑張らせたいと思います。(私は、明日、昨年に引き続きワルシャワマラソンに参戦します。)



写真5 ヴィエリチカ岩塩坑

ワルシャワ日本人学校
田中正典